

第4学年 社会科 学習指導案

1 単元名 「特色ある地いきと人々の暮らし (和紙をつくるまち 美濃市)」

2 単元指導計画

時	主な学習内容
1	美濃和紙について気付いたことを話し合い、学習問題をつくる。
2	美濃和紙がどのように作られているのか調べ、その苦勞について考える。
3 (本時)	写真やグラフなどの資料から、なぜ美濃市で和紙づくりが盛んになったのか考える。
4	紙をすく家が年々減少している中で、なぜ手すき和紙をすき続けているのか考える。
5	美濃市では、どのように和紙をまちづくりに生かしているのか考える。

3 本時について (3/5)

(1) ねらい

美濃市の和紙作りと自然環境の関係について考える活動を通して、和紙の原料や和紙づくりに適した川があることに気づき、その自然環境と和紙づくりを受け継ぐ人々の願いから、和紙づくりが盛んになったことを理解する。

(2) 評価規準

和紙づくりに適した地形や気候、原料の有無といった自然環境について気付いたことをまとめ、自然環境と和紙づくりを受け継いでいる人の思いを含めて、美濃市で和紙づくりが盛んになった理由を考えまとめている。

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助 (留意点)
導入	<p>1 本時の学習内容に課題意識をもつ。</p> <p>○美濃市では、美濃和紙あかりアート展が行われ、10万人以上の人々が訪れるなど、和紙作りが盛んであることを確認する。</p> <p>2 学習課題を設定する。</p> <p>なぜ美濃市で和紙づくりがさかんになったのか考えよう。</p> <p>3 課題解決の見通しを立てる。</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドショーや美濃和紙あかりアート展の動画を活用し、美濃市では和紙づくりが盛んに行われていることを確認する。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○白川村は、合掌造りで活用する「かや」が豊富にあることや、積雪量が多いため合掌造りが盛んなことを想起し、「原料」と「周囲の環境」に焦点を絞って課題解決の見通しをもつ。</p> <p>4 個人で追究する。</p> <p>○資料を「原料」と「周囲の環境 (川)」の視点に焦点を絞って本時の課題について考える。</p> <p>5 全体で分かったことを交流する。</p> <p>○美濃市では、和紙づくりの原料となる「こうぞ」や「がんび」が収穫できたことから、原料に恵まれていたことを確認する。</p> <p>○美濃市は近くをきれいな川が流れていることから、和紙づくりに適した環境であったことを確認する。</p> <p>6 補助資料を用いて深めの交流を行い、課題を解決する。</p> <p>○美濃市で和紙づくりが盛んに行われているのは、「原料」や「川」などの自然環境が整っただけでなく、伝統を受け継いでいきたいという人々の思いがあったことを確認する。</p> <p>7 学習をまとめる。</p> <p>美濃市の人々は、暮らしを支えるために、地いきの特色を生かした和紙づくりを行うようになった。その技術を受け継ぎたいという人々の願いから、今でも和紙づくりがさかんである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃市に現存するこうぞ畑の写真や川の写真から、「原料」と「周囲の環境 (川)」に着目して考えることができるようにする。 <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「原料」「川」に関する資料を提示しておく。 ・自分の考えをもつことができない場合は投影されている仲間の考えを参考にし、自分の言葉でノートにまとめる。 ・根拠を明確にしながら、自分の考えを全体で交流する。 ・自分の力でどこまで考えることができていたのかを明確にし、仲間の考えを取り入れながら話すことができるようにする。 <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD資料を活用し、和紙づくりを受け継いでいる人たちの思いを知る。 ・「原料」「川」「人の思い」の3つの視点からまとめを書けるようにする。
展開		
終末		